

飲酒時における注意事項

◆ 未成年者は飲酒をしない、また未成年者に飲酒をさせない。

未成年者（20歳未満者）の飲酒は法律で禁止されています。また、未成年者の飲酒を知っていて制止しなかった成年者は罪に問われる可能性があります。

本学の学生団体が主催する懇親会において、未成年者の飲酒が発覚し、活動停止となった学生団体がありました。未成年者が参加する懇親会等では、お酒を用意しない等の対策を講じてください。

◆ 飲酒の強要（アルコールハラスメント）や一気飲み・早飲みはしない、させない。

飲酒を強要したり、はやし立てることによって、刑事責任・民事責任を問われることがあります。また、体調を崩すことをわかっていながら飲酒を強要し、急性アルコール中毒で死亡させた場合、傷害致死罪に問われることがあります。一人一人の飲酒するペースを尊重してください。

◆ オンライン飲み会を開催する場合は、長く飲みすぎない。

店舗での飲食とは違い、オンライン飲み会は退出時間の制限がありません。長時間飲み続けることは非常に危険です。自動でネットワークが切れるように設定する等、時間を決めて飲むようにしましょう。

◆ 急性アルコール中毒が疑われる人がいる場合の救護方法

- 1、絶対に一人にしない
- 2、衣類をゆるめて楽にする
- 3、体温の低下を防ぐため、毛布などを掛けて暖かくする。
- 4、吐物による窒息を防ぐため、横向きに寝かせる。
- 5、吐きそうになったら、横向きの状態で吐かせる。
(無理に抱き起こすと、吐物により窒息する可能性があります。)

◆ こんなときは迷わず、すぐに救急車を呼んでください

- ・大いびきをかいて反応しない
- ・揺すっても呼びかけても反応しない
- ・体が冷たくなっている
- ・倒れて口から泡を吹いている
- ・呼吸が不安定で乱れている